

1. 学校の教育目標

本校の教育理念に基づき、きめ細かい指導のもと社会人としての資質の向上と幅広く教養とを身に付けたバランス感覚のある人材輩出を目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育(教職員として)の質の向上
- (2)人間力の育成・演習・実践の強化
- (3)地域の一員・住民であることを意識し目的に合わせた地域力の活用

3. 自己評価項目の達成及び取組状況

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

令和元年

(1) 教育理念・教育目標

	評価項目	自己評価
1	学校の教育理念・目的・育成人材像は明文化されているか。	4
2	学生・教職員に対して、学校の教育理念等の周知徹底が図られているか。	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4
5	学外(保護者含)に対して、学校の教育理念等が公開されているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	令和元年度は、各業界人材不足により多くの求人が寄せられた。総合ビジネス学科に求められる人材の特徴としては他人とのコミュニケーションがしっかりとれる人材といった傾向があった。昨年度の改善点であった保護者へのアプローチは、長期休暇中の個別面談をとおして教育理念などをお伝えし本校教育に一層のご協力をいただくことができた。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己評価
1	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4
4	理事会が定期的開催されているか。	4
5	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	4
6	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	4
7	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4
8	賃金制度・昇進・昇格制度は文書化されているか。	4
9	個人情報保護規程が文書化されているか。	4
10	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
11	教職員の健康診断がされているか。	4
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	昨年度同様広く社会に有能な人材を育成することを学校の目的としている。また、目的達成のためにさまざまな運営方針が策定されており、より具体化を図ることができた。運営組織や意思決定機能、個人情報保護規定は文書化等により明確化することができた。しかし、新規事業になかなか足を踏み出せないところは引き続き課題として残っている。次回以降に改善に繋げていくことが肝要である。	

## (3) 教育活動

	評価項目	自己評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
5	業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	産学連携によるインターンシップが体系的に位置づけられているか。	4
7	授業評価の実施・評価体制があるか。	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
取組と課題 今後の改善方策	令和元年度は教育課程編成委員会において協議・指導された事項をもとに、より実践的な授業を取り入れた。また継続して行っているインターンシップについて受け入れてくれた企業と提携し、学生が実際に研修した内容をよりきめ細かく評価してもらった。また、留学生については授業で学んだ「おもてなし」の心を実際のホテルで研修を通じて実践した。教員研修はより授業に役立つ研修を行ったが今年度はより教員の能力開発に通ずる研修を行いたい。	

## (4) 学修成果

	評価項目	自己評価
1	就職率の向上が図られているか。	4
2	資格取得率の向上が図られているか。	4
3	退学率の低減が図られているか。	4
4	卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	就職率については早期に100%を達成ができたが、今年度はコロナウイルスの影響で例年の就職活動と異なった状況にあるので、学生をしっかりとフォローし就職を決めていきたい。資格については国家資格である宅地建物取引士に2名合格など難関資格の合格者はしたが、難易度の高くない資格の取りこぼしがあったので今年度はしっかりと取り組みたい。	

## (5) 学生支援

	評価項目	自己評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4
3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4
4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4
5	学校説明会等による情報提供は行われているか。	4
6	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4
7	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4
8	学生相談に関する体制(面談)は整備されているか。	4
9	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
10	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4
11	学生の生活環境への支援は行われているか。	4
12	保護者と適切に連携しているか。	4
13	卒業生への支援体制はあるか。	4
14	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4
15	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	令和元年度より実際にその資格・学習内容を活かした職業を行っている人材を非常勤講師として採用し講義を行っている。その資格や勉強内容が実際の職業にどのように関連しているかを実際に働いている講師から学生にレクチャーしている。また、例年1月の年1回であった保護者会を5月と1月の年2回にし、より保護者との連携を深めるようにしている。また来年度は入学式時に全校で保護者会を開催し、当校の方針等を早い段階で告知する予定である。	

## (6) 教育環境

	評価項目	自己評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備して	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	什器備品・空調等が経年劣化で、傷んできている。LED照明や新規の空調機など、教育環境の充実に必要な設備は入替の時期に来ている。法令の避難訓練、消防設備点検、盛岡市主催のシェイクアウトなどで、防災設備整備と防災知識の啓蒙に務めている。	

## (7) 学生募集

	評価項目	自己評価
1	高等学校等に対する情報提供等の取組を行っているか。	4
2	学生募集活動は、適正に行われているか。	4
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられて	4
取組と課題 今後の改善方策	高校への訪問活動や、各種DMなどの発送をこまめに行い学校情報の提供は行えたと感じている。昨年度よりSNSなどを利用した情報提供も行っているが、更新作業はある程度行えているものの、本校のSNSを継続して見ていただけの仕組みを構築しなければならないと感じた。今後はチラシや配布物などを利用し、本校のSNSを告知していく予定である。	

## (8) 財務

	評価項目	自己評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が妥当に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	ここ数年の学生数の減少の影響で、流動資産を注視して、事業継承する必要がある。会計監査体制は、適宜行われている。情報公開は、ホームページで閲覧できるようにした。	

## (9) 法令遵守

	評価項目	自己評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	学生・保護者からのアンケートを元に、自己評価を行っている。また、当自己評価については本ホームページで公開している。さまざまなご意見を頂いており、本校に対する期待と捉えて、改善点を学生・保護者にとっての視点から改善する必要がある。	

## (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
2	社会的活動(地域活動・ボランティア等)を評価・単位認定しているか。	3
3	地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	令和元年度はボランティアを募集すると自ら参加する学生が増えてきており、学校でも積極的に紹介をしている。また、学校地元の行事を学生自ら企画・運営しており地域に対する支援も行った。今後は社会的活動を評価・単位認定まで結び付けたい。	

## (11) 国際交流

	評価項目	自己評価
1	受入れ・派遣、在籍管理等について適切な手続き等がとられているか。	3
2	留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されている	3
3	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	昨年度は日本人学生と合同で藪川地区における地域振興の現場研修を行い、自らも学生目線での地域振興策を盛岡市役所に提示を行った。また授業で習った「おもてなしの心」を実際のホテルでの研修で実践学習した。	

## 4. 本年度の総合的な自己評価結果と今後の課題

令和元年度は企業と連携した事業により職業実践専門課程の認可を受けることができた。また、教育課程編成委員会での提言を参考に企業とより実践的な連携を行ってきた。しかし、まだ未達成な事項、さらに強化しなければならない事項もあり、その原因を究明するとともにしっかりと対策をたてて取り組んでいきたい。